2010-2011 年度今治ロータリークラブ週報 No.27

第 27 回 例 会 報 告（1月27日）

【 出 席 報 告 】

・会員数　５５名　・出席数　３２名　・欠席数　２３名
・当日出席率　６６．６６％　・前々回修正出席率　１００％
＜欠席会員＞藤田、平尾、檜垣(賢)、檜垣(巧)、飯、冠、金森、川上、桑森、光藤、西信、重松、大澤、竹田、田中
〔免除会員〕青野、原田、松本、宮本、村上、野間、白石、八木
<1/13 欠席補填>(1/4 今治南)檜垣(俊)、平尾、川上、楠本、松木、光藤、村上(修)、瀧幸、吉武　(1/11IAC)藤田
(1/17 今治北)菅、金森、桑森、村上(裕)、竹田、田中

◇**会長報告**・愛媛信用金庫　今治支店長　岡田善雄会員が２月１日付けで転勤の為、退会されることになりました。本日が最終例会です。

◇**幹事報告**・４月 28 日に予定しておりました音楽例会が２月 10 日(木)へ変更となりました。12：30 より今治国際ホテル２階ダイアモンドの間にて開催。お食事は 11：30 より１階ラ・セールにてご用意しております。ご家族の皆様のご参加もお待ちしております。出欠の回覧をお願い致します。
・２月のロータリーレートは１ドル 84 円です。

大分類別会員卓話　仏教

◆**板脇ゆか会員**：今治は空襲があって古い建物が残っていません。奇跡的に焼け残った南光坊太師堂ですが、昨年５年振りにオーストラリアから帰国し、この屋根の曲がり具合がひどいことから、大変なことになっている、何とかしなければいけないという所から始まりました。太師堂は、大正元年に着工、５年５月に落慶しています。当時の住職は天野快道で私の曽祖父に当たります。建築の形は方形造りで、大きさは向拝柱間３間、桁行梁間５間、平面図では正方形の建物です。大正期の和様近代建築で、国内最大級の宝珠、高さ約４ｍのものが屋根に乗っています。銅版の大きさや厚みが他にはない特徴です。彫り物も精密で芸術性豊かです。彫刻師は長州大工で、山口周防大島出身の門井友祐という人です。当時、長州大工は高水準の技術を持つ大工集団で、松山以南から高知県にかけて活躍したようです。水引虹梁は陽刻で、前に飛び出してくるような特異な彫刻です。硬いケヤキを前に向いてくぐりだすように彫っていくのは、大変難しい技です。もう一つ珍しいのは、蟇股（かえるまた）に 12 支の彫刻を全て彫っていることです。耐震のために造った具材が、これだけ芸術性の高いものになっているというのが見所です。▼昨年の工事の進み具合を紹介します。最初屋根が曲がっていた原因を調査しました。屋根が重たすぎたことと、柔らかい地盤があったことでした。松の杭がとけてなくなって、地盤が沈下していました。これを最新の方式で改良し、7ｃｍ沈んでいたのをジャッキで上げ元に戻しました。足場作りにも苦労しましたが、屋根瓦１万枚を一枚一枚手降ろしして、使えるかどうか菊間で検査し、20%を焼き直しして使用しました。屋根にも工夫をしました。五重塔と同じやり方で、丸桁桔木を使用し「てこの原理」で桔木を美しく真っすぐにしました。その結果跳ね上がった上向きの屋根が完成しました。昨年 11 月 11 日に竣工、19 日に落成式を行いました。たくさんの方が来ていただきました。以上、新入会員の卓話をさせていただきました。今後ともよろしくお願いいたします。

次 回 例 会（2月3日）

【　国際奉仕委員会アワー　】

＜配偶者誕生祝＞　渡辺　易廣氏（2/9）
＜結婚記念日祝＞　徳丸　謙一氏（2/10）　白石　洋治氏（2/11）
＜入会記念日祝＞　重松　宗孝氏（2/5）　飯　忠悟氏（2/9）

〔　国際ホテル　〕